

◆人権・同和問題啓発標語◆

少しずつ  
ふやしていこう  
思いやり  
解放文化祭展示作品

くらんど人権文化  
センターだより

- 発 行 -

宝塚市立くらんど人権文化センター  
住 所：宝塚市中野町 2 2 番 1 9 号  
電 話：0 7 9 7-7 3-2 2 2 2  
F A X：0 7 9 7-7 3-2 2 2 3  
～差別解消と人権学習の場～



今年で 49 回目を迎えたくらんど解放文化祭は「人権尊重は平和への架け橋」をテーマとして 10 月 23 日（木）、24 日（金）の 2 日間にわたって開催しました。文化祭当日はもちろん、準備から片付けまでご協力いただいた、たくさんの方々に御礼申し上げます。

文化祭では、定例講座受講生の作品展示や登録団体の日頃の活動成果の発表をはじめ、ブラスバンド演奏、人形劇、手話のお話、人権問題講演会、和太鼓演奏、市内保育所・小・中学校の作品展示など多彩な催し物が開かれました。好天にも恵まれ、2 日間で大人 797 人、子ども 1,665 人、合計 2,462 人の方にご来場いただきました。

展示・催し



婦人会 昔の食試食会



育児ブラスバンドたんぽぽ団



手話教室  
手話で四季の歌



くらんど手話輪  
デフリンピックについて



わくわくまつりの創造



体験版 生命の貯蓄体操



わくわく子ども太鼓



仁川しゃぼんだま  
人形劇



人権問題講演会  
講師：北川真児さん



民踊友の会 藤



ビンゴゲーム



小林エイサー隊



和太鼓集団「熱光」

文化祭アンケートより

- ・ 狭山事件の展示に胸を打たれました。警察・マスコミという 2 大権力が罪のない市民に牙をむく恐ろしさに震えました。公権力及びマスコミへの監視を我々市民一人一人が行う必要性を深く感じました。
- ・ 年に 1 度参加することで考える機会になっています。
- ・ 毎年参加させていただいています。
- ・ 子ども達の素直な思い、作品にいつも心打たれます。
- ・ この様な文化祭があることを全く知りませんでした。内容が濃くとても良かった（人権啓発的に）ので、もっと PR して下さい。
- ・ 同和問題に限らず、ネット上のデマや扇動は課題と感じている。本日の講演会でよりその思いを強くした。
- ・ 差別と一言と言っても、「人」に対してだけでなく、「宅地」に対してもあるということが改めて分かった。インターネットが普及したことにより、傷つく人が増えていることも認識はしているが、深く考えていかなければならないと思った。
- ・ 自分も気づかないうちに差別しているかもしれないし、意識しないといけなかったと思った。